

## 病院にくる以前にだいじな話の巻

ちょうどこれを書こうとしていたら、遠くの国で戦争が始まりました。今後どうなっていくのやら他人ごとではありません。メディアはここぞとばかりに強烈な情報を何度も繰り返し流しています。私は、これでまた世間に「にわか国際紛争専門家」や「にわか軍事評論家」が湧いて出るのだろうと、不謹慎ながら思わず苦笑いしました。我々凡人の世間話が行きつくところなど、善悪二元論か、平和憲法信者 VS ネットウヨのようにリアリティのない空中戦がせいぜいのところでしょう。

そういえば少し前にはだれもが「自称 新型コロナ専門家」のようでした。連日テレビで速報される感染者数に反応し、コメンテーターの話をオウム返しに拡散したものです。その時も私は、病院でコロナ最前線からちょっと後ろのあたりで苦笑していました。私は昭和生まれのテレビ世代ですからテレビを悪く言う筋合いはないのですが、経験上、ずっと見ていると身体に悪いです。ネット動画も同じです。長時間座ったまま見ていると血栓ができるとか、メタボになるとかの話ではありません。

私やあなたにとって最優先でだいじなことはテレビの中になんてないと思うのです。タダで眺めるだけの情報で世界を理解した気になるのは簡単です。でも誰かが切り取った危機や犯罪の映像を繰り返し見るそのおなじ時間で、どれだけ目の前のひとの役に立てるでしょうか？どれだけ自分の未来をよい方向へ変えられるでしょうか？

現代は昔に比べると目の前の物事へ集中することがおろそかになっているのだと思います。気をそらすことばかりが多く、よほど選ばないと時間を食いつぶすばかりです。人生で時間より大切なものはないと思います。私はこの年でやっと、そのことをはっきり自覚するようになりました。本当は東日本大震災の時にいちど、そう気が付いたんです。でもまもなく忘れました。年をとっても取らなくても、ひとは病気になるし、天災や社会の変化によっても、それまでの当たり前が急に当たり前でなくなります。

人生の目的を早くに決めることのできたひとは幸せです。そうでない私のような人も多いでしょう。ならば目の前のことに夢中で集中している人を応援するだけでもいい。自分にとって意味のある時間を最期まで使い切れたならそれが幸福というものでしょう。今回は直接病気とは関係ない話題となりましたが、病を得ても善く生きることの根底には、そんな要素も関わるのではないのでしょうか。